

『住民参加システム（仮）』の設問イメージ

テーマ「防災」設問
イメージ資料
1/4

参加者は、回答を通じてデータやファクトを学習し、先入観や誤解を最小化します。

①住民に知ってほしいデータやファクト

千曲市 防災プラットフォーム

千曲市の暮らしの皆様にご案内
千曲市のみんなで考える
人間の力で自然のすべてを制御できません。災害は必ず起こります。起こることを前提に、災害に強い千曲市を一緒に作りましょう！まずは、回答参加から

スタート

千曲市の暮らしの皆様にご案内
千曲市の防災知識を学習型クイズにしました。回答して、災害マスターを目指して下さい！

選択肢を選んで（決定 / 次へ）で次の問に進みます。

決定 / 次へ

Q-1
1949年からの観測史上、千曲川が大雨で、増水した時の最高水位は、約何メートルでしたでしょうか？

3.5メートル
12.46メートル
5.34メートル
9.89メートル
18.23メートル

決定 / 次へ

Q-2
あなたは、ペットと暮らす市民です。大きな地震のため、避難所（小学校体育館）に避難しなければなりません。しかし、ペットの（秋田犬）がいます。一緒に避難所に連れて行っていいでしょうか？

ペットは禁止
ペットは連れていける
ペットは連れていける、ただし普段から準備が望ましい
ペットは基本禁止、だが事前登録で許可されることもある

決定 / 次へ

Q-3
あなたは、避難所の運営担当者です。避難所に600人が避難してきています。しかし、避難所に届いたおにぎりは400個だけです。このおにぎりは配るべきだと思いますか？

配るべきではない
配るべき
工夫して、配るべき

決定 / 次へ

Q-4
災害用伝言ダイヤルは、災害発生時に基本無料で使える伝言録音と共有の仕組みです。お互いの電話番号を知っていれば、30秒のメッセージを最大20件送れます。番号は、以下のどれでしょうか？

119
777
711
171
717

決定 / 次へ

参加登録などを
事前に行います。

正解のある設問（数問から十数問を提示）

地域の防災に関連するデータやファクトを設問を通じて確認、学習できます。回答すると参考情報（後述）が表示され、その参照の上で、再回答を行います。この過程で情報不足で意思表示する状態を予防します。

Q-5
この災害用伝言ダイヤルは、災害発生時のサービスですが、利用できるのは、どういった時でしょうか？

災害時のみ
災害時に加え、月2回の練習日
災害時に加え、月2回と防災週間に設けられる練習期間

決定 / 次へ

Q-6
東日本大震災以降、災害への心構えとして広まった言葉、「津波でんでんこ」とはどのような意味でしょうか？

どんでん
それぞれ、各自で
あっちこっち
むちゃくちゃ、ひっくり返る

決定 / 次へ

Q-7
「津波でんでんこ」が示す意味として合っているものを、すべて選択して下さい。

自分の命は自分で守る
誰かの言うことに従う
まわりの人の事も考える
相互信頼が重要
最善を尽くしても上手くいかない場合もある

決定 / 次へ

Q-8
お住まいの場所の災害リスクは、次のうちどれでしょうか？

最大浸水深さ5m以上
土砂災害警戒区域（急傾斜） 対象
最大浸水深さ2m以上
土砂災害警戒区域 対象外
最大浸水深さ0.5m以上1m未満
土砂災害特別警戒区域
最大浸水深さ 対象外
土砂災害警戒区域 対象外

決定 / 次へ

Q-9
災害発生時、お住まいの場所の安全確保が困難になった際の避難場所は、どこですか？

決めている、判らない
知人、親戚の家
最寄りの避難所
上記以外

決定 / 次へ

Q-10
災害発生時の考え方として、間違っただけを1つ選んで下さい。

防災訓練の通り行動する
想定にとらわれない
どんな場合も最善を尽くす
自分の頭で考える

決定 / 次へ

『住民参加システム（仮）』の設問イメージ

テーマ「防災」設問
イメージ資料
2/4

データ等を踏まえた同じ考えの人々を確認することで社会、地域への信頼が醸成されます。

②データやファクトへの理解度確認

あなたのテーマへの理解度は、
85 level

千曲市の防災に関わるデータやファクトについて、かなり高い理解を持っています。しかし、誤解や認識不足も一部にあるようです。念の為おさらいをして理解レベルを高めませんか？

おさらいはしないで、次のステップへ進む

おさらいを行い、その後で次のステップへ進む

次へ>

正誤の情報から理解度を表す一定の理解度の上で先に進めるかの判定の他、戻って回答するおさらいも可能

③データやファクトへの一定の理解度の上での意思表示

Q-12 あなたは、千曲市における防災と災害への対応は、市役所、住民が、どのような関わりで行うことが、最も望ましいと考えますか？

千曲市役所が主体となって行う

千曲市役所と住民が一緒に協働して行う

住民が主体となって行う

上記以外の方法で行う

決定 / 次へ>

正解のない設問（数問を提示）

Q-13 あなたは、千曲市役所と住民と一緒に協働して行う、防災と災害への対応に、サポーターとして参加しますか？

サポーターとして参加する

サポーターとして参加しない

決定 / 次へ>

Q-14 さっそくですが、千曲市防災サポーターとして、防災や災害対応に関する心配ことや、判らないことがあればお聞かせ下さい。（特になければ「スキップ」を選択）

コメントを確認する

スキップ

タイプ判定へ

データやファクトを踏まえた上での、回答者の考えを確認。

考え方をタイプとして可視化することで、回答の結果を回答者にフィードバックしつつ、その集約によって地域コミュニティとしての意思形成、合意形成を行います。

④意思表示をタイプで確認

あなたの「防災」への考えタイプは、
千曲市の防災・災害環境を市民と市役所協働で、自分も参加して創る！

スーパー防災マスター

ポジティブ面からの解説

ネガティブ面からの解説

回答をやり直す

シンクロを確認する

⑤回答者が社会、行政に伝えたい意思

スーパー防災マスター

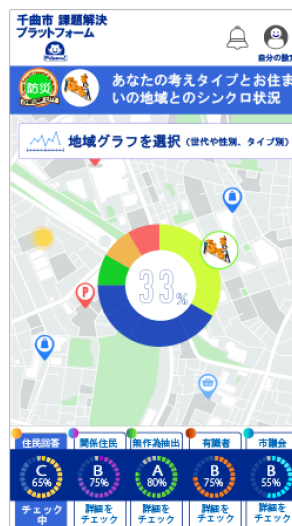
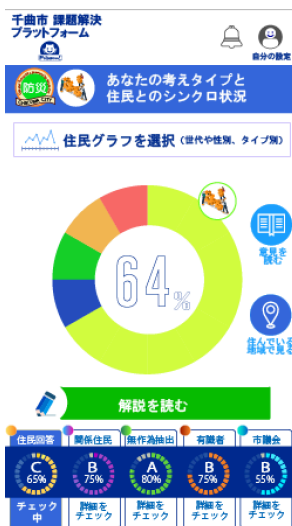
ご自身のタイプについて、そして、千曲市の防災、災害への取り組みへのご意見やご自身が地域に共有したい体験提案などありましたらお聞かせください。特になければ（スキップ）で次に進みます。

いただいたコメントは、他の回答者の方々にも記事やタイプごとの考えを俯瞰する機能の画面で共有されます。

コメントを確認する

スキップ

⑥意思表示の俯瞰的確認



⑦議会（政治家）との連携（選択式）



⑧回答参加俯瞰的確認を踏まえたアクション

千曲市 課題解決プラットフォーム

あなたの考えタイプと住民とのシンクロ状況

異なるタイプ 五十音一覧 党派政差別 検索

あなたと考えが近い議員

お名前 HP Twitter Facebook

コメントを読む

あと8人

次のアクション（行動）へ

千曲市 課題解決プラットフォーム

次のアクションへ

クーポンが届いています！

シェアする

招待する

回答リクエスト

クーポンポイント

困りごとの投稿 議題の提案

他のテーマに参加 ニュースを読む

回答状況集計の進捗などがメールで知らされます。再回答（上書き）が可能

『住民参加システム（仮）』の設問と参考情報の表示

テーマ「防災」 設問
イメージ資料
3/4

回答をすると参考情報が表示され、参考情報（データやファクト）を踏まえて再回答をすることができます。
このプロセスが学習となります。

ステップ 1
知り
学ぶ
考える

回答を通じて、知る、学び、考える

初見での回答

お知らせ 自分の設定

Q-2
あなたはいま、ペットと暮らす市民です。大きな地震のため、避難所（小学校体育館）に避難しなければなりません。しかし、ペットの（秋田犬）がいます。一緒に避難所に連れて行っていいのでしょうか？

参考情報

ペットは禁止

ペットは連れていける

ペットは連れていける、ただし普段から準備が望ましい

ペットは基本禁止、だが事前登録で許可されることもある

決定 / 次へ>

参考情報
ペットも大切な家族であり地域の一員です。避難所には、ペットも一緒に避難しましょう。でも、ペットへのアレルギーを持つ他の避難者の方々とも共存できることが大切です。そのために→

基本OK



実際の画面では設問に重なって表示されます。

参考情報を踏まえた回答

お知らせ 自分の設定

Q-2
あなたはいま、ペットと暮らす市民です。大きな地震のため、避難所（小学校体育館）に避難しなければなりません。しかし、ペットの（秋田犬）がいます。一緒に避難所に連れて行っていいのでしょうか？

ペットは基本禁止、だが事前登録で許可されることもある

ペットは禁止

ペットは連れていける、ただし普段から準備が望ましい

ペットは連れていける

決定 / 次へ>

『住民参加システム（仮）』の対象者別の設問表示

対象者によって表記を調整して説明を提示することができます。
設問開発時には、教職員の方などの助言をいただきながら調整を行います。

テーマ「防災」設問
イメージ資料
4/4

一般向け（小学校4年以上想定）

お知らせ自分の設定

Q-2

あなたはいま、ペットと暮らす市民です。大きな地震のため、避難所（小学校体育館）に避難しなければなりません。しかし、ペットの（秋田犬）がいます。一緒に避難所に連れて行っていいでしょうか？

参考情報

ペットは禁止

ペットは連れていける

ペットは連れていける、ただし普段から準備が望ましい

ペットは基本禁止、だが事前登録で許可されることもある

決定 / 次へ >

低学年向け（小学校1-3年生を想定）

お知らせ自分の設定

Q-2

あなたはいま、ペットとくらす市民です。大きなじしんのため、ひなんじょ（小学校体育館）ににげなければなりません。しかし、ペットの（犬）がいます。一緒に連れて行っていいでしょうか？

参考情報

ペットはつれていけない

ペットはつれていける

ペットはつれていける、ただしふだんからじゅんびするといい

ペットはつれていけない、ただしまえもっていえば、つれていける

決定 / 次へ >

千曲市に新年度から導入を行う、仮称『住民参加システム』についてご説明致します。
これまでの、いわゆる広報・公聴および、自治体によるコミュニケーションには3つの弱点がありました。

第1に、
印刷物やウェブサイトを発行、更新しても市民がどのくらい読んでいるか、いないか、読んでいてもどの程度理解しているのかを把握する方法がなく、一方通行の状態です。

第2に、
市民にとっても、市からの情報を読んだり、視聴しても、自分にとってどう関係し、何が重要かを把握することが難しく、意思表示する方法もほばないため、現実的に、一方通行の状態です。

第3に、
市民の考えを知る方法として、いわゆる世論調査やアンケートが行われていますが、回答者は、設問やその背景についてよく知らないことでも、先入観や誤解に基づいた回答ができてしまうという、根本的な弱点がある上、集計回答が市政にどのように反映されるかというフィードバックもなく、市民にとっては回答のしがいがなく、市役所のとっても市民の考えを知る方法として十分ではありません。

こうした地方行政におけるコミュニケーションの弱点を補完し、**Society5.0**、**DX**（デジタルトランスフォーメーション）、**SDGs**（特に**No.11**住み続けられるまちづくり）に対応する新しいコミュニケーションとして機能する仕組みが新しい『住民参加システム（仮）』です。

複数の特許技術のもとに開発されており、千曲市市民が、継続的に地域課題について知り、学び、考え、意思表示することができ、他の回答者の回答も俯瞰しながら、さらに考えを深めることで、市役所と市民、議会の相互理解、意思形成、合意形成を可能にするものです。

また、システムと言いましても、システム単体ではなく政策分析や設問設計を行う専任担当者が付きます。執行部はもとより、各関係部署と連携して地域課題の改善、解決に繋がるコミュニケーションを運用する体制を5年以上の継続的な運用で構築して参ります。

お手元にある資料は、防災をテーマとしたものです。学校現場の協力をいただきながら連携することで、これまで市役所との接点が希薄であった**10代**の千曲市市民、その保護者の方々、教職員の方々を中心に、市役所との相互理解、意思形成を行うことを目指します。

皆様のご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。